



とねしょうかわらばん

がつ にちほん
9月17日版



6年生国語科で、意見を深める学習をしていました。ある課題の賛成意見と反対意見をそれぞれ考え、相手の意見をよく聞き、その意見に対する質問や、質問の回答についてのコメントや、質問に対するコメント等をしっかり考えて表現する学習でした。



2年生国語科は、友だちの話を聞いて、その話がうまく広がるような質問を考える学習をしていました。質問を考えるためには友だちの言うことをしっかり聞かなければなりません。

このような学習を各学年の発達段階に応じて積み重ねることによって、聞く力、話す力、探求する力を養っていきます。



5年生の習字の学習です。大筆による平仮名は力の入れ具合や運筆が大変難しくてみんな苦労します。実際に書く前に、ひらがなを書くイメージトレーニングをしっかりと行ったうえで実際に半紙に書いていました。どの子も「漢字を書く時とちがうなあ」と実感してくれたのではないのでしょうか。



5年生は、ミシンの使い方について学習を始めています。なんでも初めて学習するときは、物の名称や使い方の注意など、覚えなければならないことがたくさんあるので、先生も子どもたちも大変です・・・



でも、ミシンの操作は、他教科でも同時に学習しています。それは、図工における「電動系のこぎり」を使った学習です。今、図工ではパズルづくりを頑張っています。「電動系のこぎり」の操作はミシン操作とよく似ていることから、少し経験するだけでどんどん上達しています。